

2017年1月11日

関係各位

千代田化工建設株式会社  
IR・広報・CSR セクション**Dialog Plant Services 社向けエチレン、プロピレンタンクターミナル施設の EPCC 業務を受注**

千代田化工建設株式会社(本社:横浜市、代表取締役社長:澁谷省吾、以下「当社」)はマレーシア、ジョホール州ペンゲランに於いて Dialog Plant Services Sdn. Bhd.社にて構成される共同事業体よりエチレン、プロピレンタンクターミナル施設の設計・調達・建設・試運転(EPCC)業務を受注しましたので下記の通りお知らせ致します。

## 記

1. 顧客名 : Dialog Plant Services Sdn. Bhd.
2. End User : Pengerang Terminals (Two) Sdn. Bhd.  
(Petronas/ Royal Vopak/ Dialog Group/ Johor 州政府で構成される事業体)
3. 建設地 : マレーシア、ジョホール州、ペンゲラン
4. 契約内容 : エチレン・プロピレン タンクターミナル施設に関わる、設計・調達・工事・試運転(EPCC)業務
5. 完成時期 : 2019年
6. 遂行体制 : 千代田マレーシア、千代田シンガポール、千代田フィリピン、そして  
千代田化工建設株式会社での共同遂行
7. プロジェクト概要 :  
本プロジェクトはマレーシアにて PT2SB 事業体が開発する Pengerang Deepwater Terminal, Phase 2 Project の一部であり、PETRONAS Pengerang Integrated Complex (PIC)へ供給される原料および石油・石油化学製品の貯蔵・払出しタンクターミナル施設に対する、設計・調達・工事・試運転(EPCC)業務の遂行。

本件の遂行は千代田マレーシア、千代田シンガポール、千代田フィリピン、および千代田化工建設の共同遂行となり、当社が中期経営計画に基づき目指してきた海外拠点を主体としアジアグループとしての一体運営を具現化したモデルケースとなります。

本件の受注は多数のタンクターミナル EPC 実績を保有する千代田シンガポールのプロジェクト遂行能力、千代田フィリピンの展開設計競争力、及び今日まで現地にて信頼性を維持してきたマレーシアに於ける当社の顧客密着型運営が実を結んだ形であり、当社は今後もアジアを最重要地域の一つと位置付けてアジアグループの一体運営により、マレーシアのみならず、シンガポール、インドネシア、ミャンマー、フィリピン、ベトナム等において事業ポートフォリオの拡充を目指してまいります。

以上

---

この件に関するお問い合わせ先 : IR・広報・CSR セクション 塚本 朋之 / 横田 令子  
電話: 045-225-7734 FAX: 045-225-4962  
URL: <https://www.chiyoda-corp.com/contact/index.php>